

心豊かな世代が育つ  
童話の里づくり  
08

そうすれば、一人ひとりが認める学校になると思います。

「確實にやりとげた」「たよりにならぬ」「やがて」、「笑顔がすてき」などでした。

# —シリーズ— あなたの人权・わたしの人权

「いいところを見つけたい」

古後小学校5年

河津由菜

「自分のいいところを見つけてみよう。」

和のいじと、おはなにあらわがな  
いといへばどいだらうとなやみまし  
た。考へても、なかなか思いつきま  
せん。

友だちのいいところはたくさんあるのに、なぜ自分のいいところはない

ふだん、自分のことを考えたり、  
ふり返つたりすることがありあり  
ません。だから、自分自身のことを

授業や休み時間、家の自分を思  
い出しました。

家人の人たちにも自分たちのいいところを見つけてもらつことになりました。

勉強でわからない時や運動する時など、自分ができるようになるまで考えたり練習したりするからです。もう一ついじとりを見つけたかつたけれど、この一つしか思いうかびませんでした。

そしてやっと一回自分のいいところを見つけて、プリントに書きました。低学年に分からないと教えることがあります。

一つ田を書いた後、二つ田もなかなか見つかりませんでした。

しばらく考えて、二つ田のいいところを見つけることができました。あきらめないことです。

たくさんあるんだなと思いました。  
とてもうれしい気持ちになりました。

自分のいいところを見つけたこと  
で、自分に少し自信が持てるよう  
なりました。

十一人の「ほめられ名人」、みんなの笑顔が目に浮かぶ古後小学校ですね。

この人権作文について、意見や  
感想、激励など、お寄せください。  
また、みんなさんの投稿もお待ち  
しています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを「一、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名・連絡先電話番号を記入して(匿名可)、  
玖珠町教育委員会  
社会教育課「あなたの人権・わたしの  
人権」までお届けください。